



越部小だより



実りの秋

～ 達成感が自信や意欲につながる
コロナ対策を工夫し運動会で成長を～

10月23(土)は、運動会です。学校では、練習にも熱が入ってきました。今年もコロナ禍で感染対策を実施しながらの練習、本番になり、入退場、整列、待機、演技中全てにおいて、密を避けたり、掛け声を工夫したりしています。

そのような制限があるなかでも、子どもたちが、目標に向かって、気持ちを合わせ一生懸命にがんばる姿を見ると感動します。このような感動は、子どもたちのひたむきな姿から生まれるものです。「合わせる・揃える」こと「最後まで続ける」こと「自分の力を精一杯出す」こと「友だちの頑張りを認める」こと、そんな気持ちや力を伸ばしていきたいです。そして、がんばったことを認めてもらえた子どもたちは、達成感や自己肯定感を感じます。達成感は自信や意欲につながります。自己肯定感という感情のエネルギーがあれば、日々の生活の中で「楽しい」「大丈夫」「やればできる」と思える場面が多くなります。

このように、運動会は、子どもたちの心の中の土を耕し、肥料を与え、成長させる絶好の機会ととらえ、臨んでいきたいと思えます。

今年の運動会も、会場の密を避けるため、保護者の方のみのご参加になりますが、温かい拍手とたくさんのほめ言葉をかけてやっていただきますようよろしくお願いいたします。



[運動会ご観覧のお願い] 10/23(土)

新型コロナウイルス感染防止のため、密集を避けるためにPTA会員数112名の2倍程度のご観覧者数を設定させていただきました。そのため、各家庭2名までのご協力をお願いしているところですが、未就学のお子様がお家に1人になる場合などについては、観覧者用紙の欄外にご記入の上、一緒にご観覧いただいても差し支えありません。

読書の秋

～ みんなで読書をする楽しみを～

近年、スマートフォンやタブレットなどの普及に伴い、子どもたちも、インターネットやYouTube等の動画サイトを利用する時間が増えています。写真や映像の情報に簡単に触れることができるようになる一方で、視覚的な情報と「ことば」との結びつきが希薄になり、文章の構造や内容を的確にとらえて読解する機会が少なくなってきました。とくに学年が進むにつれてその傾向が明らかになっているようです。

子どもたちがよい本(図書)と出会い、言葉を学び、豊かな感性を磨き、表現力を高めることは、豊かな人生を送る大きな糧となると考えています。

学校では、図書室の蔵書の配列や学級文庫を工夫することで、子どもたちが図書に触れやすい環境をつくっています。また、朝の読書の時間での読み聞かせや廊下の読書コーナーでの掲示物を通して、本を読むことの楽しさを知ってもらうための取組も行なっています。

読書する習慣形成は小学校段階では大切なことです。ご家庭でも少しの時間を、読書に当ててみませんか。夕食前や寝る前などの15分読書も効果的です。

(お気に入りの絵本を紹介し合う活動「国語2年生」)

【読書推進活動の工夫】



(教科書の学習を広げる図書室の工夫「図書委員会」)